

「暮らしと化学」に関する実験教室の企画・開発・実施

【担当者】

先進科学系 廣木一亮（代表） 全体総括、化学全般・化学教育に関する指導

先進科学系 守友博紀 光化学・物理化学に関する指導

【受け入れ可能人数】

最大 12 名（4 人×3 チーム、実験教室の実施のため、多人数が必要）

【実施予定場所】

南館 B 棟 3 階 化学実験室 ほか

【実施内容】

チームに分かれて、「暮らしと化学」に関するリサーチを行う。それをもとに、自ら一般向けの実験教室のテーマを設定し、実験内容の検討と試行を実施する。完成した実験教室は教員のアドバイスや指導を受けて、改善を繰り返す。最終的に、10、11、12 月に開催される公開講座において、それぞれのチームが開発した実験教室を実施する。

テーマが「暮らしと化学」であることから、学生は全系から募集し、化学はもちろんのこと、物理や機械、電気、電子工作といった異なる分野の知識や技術を融合し、新しい実験を開発することを求める。

【実施計画】

- ① 「暮らしと化学」というテーマでリサーチを行う
- ② テーマに沿った実験教室を企画・開発する
- ③ 実験教室の実施について学ぶため、公開講座のアシスタントを務める
- ④ 実験教室の実施後は、実験内容・アンケートをもとに反省・改善を行う
- ⑤ ※希望者に関しては、上記内容の他に各教員の指導のもとで学術的な研究も並行して行う。研究の一部は企業との共同研究により発達したもので、技術応用も見込まれており、まさに分野融合的な研究といえる
- ⑥ 上記内容について、成果をまとめて発表を行う。